

Julabo Case Study 12

JULABO PRESTO® A40

10リットルのガラス反応容器を用いて、
+100°Cから0°Cまでの冷却運転を実施。



目的

PRESTO®A40と10Lのガラス反応容器を接続し冷却試験を行います。
A40は2.0mのメタルホースと接続します。
A40は+100°Cから0°Cに冷却するというプログラムで運転行います。

環境

周囲温度 +20°C
湿度 45%
電圧 230V/50Hz

テスト条件

使用機種: JULABO Presto A40

冷却能力: +20°C 0.5kw
0°C 0.4kw
-20°C 0.2kw

ヒーター容量: 2.7kw

帯域制限: なし

ポンプ圧力: 0.40bar

使用液: JULABO サーマルHL40

反応容器: 10リットルガラス反応容器 (Normag)
(容器内にはユラボ社製サーマルHL40を10L充填しています)

温度制御: 外部制御



テスト結果

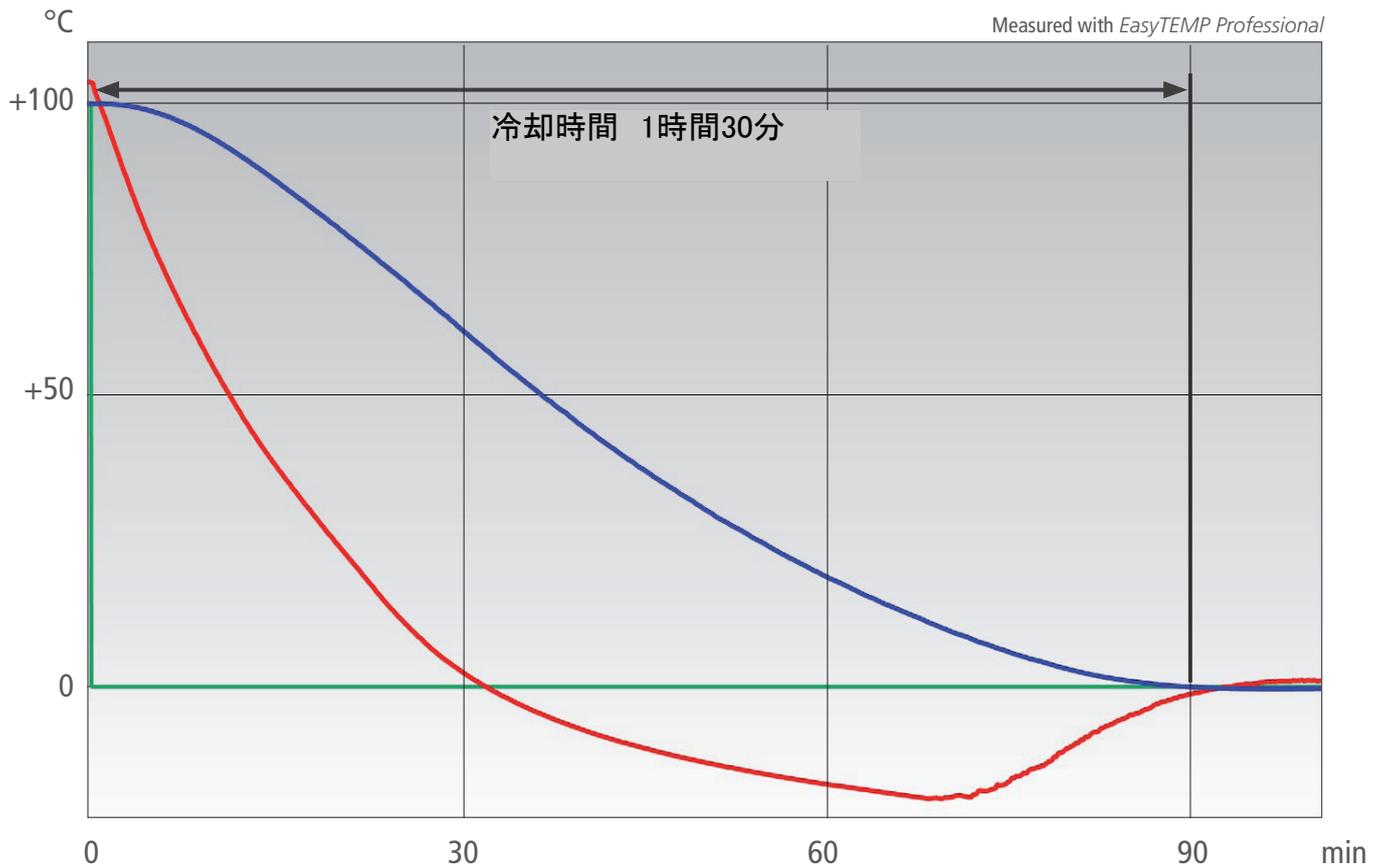
次ページのグラフをご参照下さい。A40はオーバーシュートせず+100°C
から0°Cまで1時間30分で冷却しました。

その他機能:

テフロンコーティングされたpt100センサーを使用しています。
次のページにも情報があります。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能:
ポンプ圧力を調整するためのオプションがあります。ユーザーにて、ポンプ圧力を設定する事が出来ます。



その他機能:
PRESTOの機能をイーサネットインターフェイスにて操作する事が可能です。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0